

家庭菜園相談室

今月の
テーマぷちぷち食感が楽しい！
春の収穫が楽しみなスナップエンドウ

スナップエンドウ栽培の歴史は古く、古代エジプトですでに栽培されていました。莢を手で摘み取るときに「プチッ」と小さな音がするので、その音を「スナップ」と言うそうです。種苗メーカーによっては、「スナック」という名称を使っており、サヤエンドウ、グリーンピースは同じエンドウの仲間になります。



作型目安

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
スナップエンドウ	▲	★		★	●	■	■ ■ ■	

▲ 種まき ★ 防寒ネット ● 追肥・支柱立て ■ 収穫

栽培の
ポイント

- ・冷涼な気候を好み、15～20℃が生育の適温です。低温にあたることで花芽分化が進むことから、秋まき春採り栽培が一般的です。
- ・マメ科の野菜を一度作った畑では連作障害が起きやすいため、3～4年間は豆類の栽培を休みましょう。
- ・マメ科の植物は根に根粒菌が共生しており、肥料が多過ぎると蔓ぼけを起こす可能性があるため注意しましょう。
- ・春になるとアブラムシがつきやすいので、シルバーマルチを使用すると良いでしょう。
- ・まき時が早過ぎると苗が大きくなってしまい、寒害を受けやすくなるので注意しましょう。

畑の準備

植え付けの2～3週間前に完熟堆肥2^{kg}/㎡、苦土石灰200^g/㎡をまき、深さ30^{cm}位までよく耕します。植え付けの1週間前には化成肥料(N:P:K=8-8-8)50^g/㎡を施し、よく耕しておきます。

エンドウは、微酸性～中性領域の土壌pHを好むので、苦土石灰は必ず施用しましょう。

栽植密度

畝幅100^{cm}、畝高10^{cm}ほどの畝を作り、シルバーマルチを張ります。
(シルバーマルチはアブラムシ防除と雑草防止のため)

種まき

種は2条に点まきします。条間60^{cm}株間30^{cm}の間隔で、深さ2^{cm}ほどの穴を掘り、種を1カ所に4～5粒ずつまきます。まき終えたら、種の大きさの3倍ほどの土をかぶせ、軽く手のひらで押さえます。

鳥除け及び虫除け、乾燥防止などのため、不織布で畝を覆いその上からたっぷり水をかけます。

間引き

種まきから3週間ほどして、本葉が3～4枚になったら、1カ所あたり2本に間引きし、2本立ちにします。生育の良くないもの、病気の疑いがあるものなどを間引きます。

防寒・
追肥

間引き後は、不織布や寒冷紗をトンネル掛けします。

追肥は、春先に寒さが緩んで苗の成長が盛んになってきたら、化成肥料(N:P:K=8-8-8)30^g/㎡をマルチの上からバラまきます。

支柱立て

蔓の先端がネットのトンネルにつかえるようになったら、トンネルを外し、支柱を立てます。支柱は垂直で良いですが、風当たりが強いところでは合掌式が良いでしょう。

支柱を立てたら、マス目8～10^{cm}位のネットを張ります。巻きひげが絡みやすいように、上下・左右たるまないように張ります。

収穫

開花後2週間ほど経って、中のマメが大きくなり莢が十分ふくらんだら収穫です。手で引っ張るとプチッと音がして簡単に収穫できます。

サヤエンドウを栽培する場合は、マメの粒があまり大きにならないうちに収穫します。

グリーンピースを栽培する場合は、莢がふくらんで、表面に筋が入り黄色っぽくなったら収穫適期です。

病虫害

【ナモグリバエ】葉に潜り込み葉肉を食害します。成虫はアブラムシ同様キラキラ光るものを嫌うので、シルバーマルチをしたり反射テープを張ったりすると良いでしょう。

【うどんこ病】うどんこ病の発生をできるだけ抑えるためには、蔓が混んできたなら整枝して風通しを良くしたり、高温乾燥時には草勢が衰えないよう水を切らさないようにすると良いでしょう。

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。